

新世紀のウェディングセレモニー

シビルウェディング

(市民結婚式)

∞ 全日本ブライダル協会が提唱する「シビルウェディング」とは… ∞

ふたりの婚姻の意思表示である婚姻届。日本ではただ役所に提出するだけですが、欧米では婚姻届にカップルが署名することが重要なセレモニーとなっており、市区町村庁舎のセレモニールームで、市区町村の長または係官の司式者によって執り行われます。このセレモニーは婚姻の法律上の手続きを完了させることが目的で、「Civil Wedding (= 市民結婚式)」と呼ばれています。

宗教によらない結婚式(一般に人前結婚式と呼ばれるスタイル)は日本でも珍しいものではなく、全国平均で26%を超えて来ました。しかし、現在行なわれている人前結婚式はセレモニーのスタイルとして確立されたものではありません。また、司式者不在のため儀式としての厳粛さや重厚さに欠ける面は否めません。

伝統的な欧米のスタイルを取り入れ、現代のライフスタイルに合わせた結婚式が、全日本ブライダル協会が提唱する「シビルウェディング」です。

これまでの司式者不在の人前結婚式とは違い、司式者が厳粛に格調高く司式を執り行います。そして法律上の結婚成立を第一義と考え、結婚式の前にあらかじめ役所に婚姻届を提出、その長が発行する「婚姻届受理証明書」の交付を受け、列席者全員が立会人となる結婚式の中で披露し、その立会人一同に婚姻成立を宣言するセレモニーです。

「シビルウェディング」は宗教に拠らないセレモニーですので場所を選びません。ガーデン・アトリウム・ホワイエ・プールサイド・美術館・遊園地など、ふたりのウェディングテーマのイメージに合う場所や思い出の場所がセレモニー会場に、また挙式スタイルも洋装・和装など、ふたりの好みのスタイルを選んでいただくことが出来る、まさに新世紀のウェディングセレモニーです。



全日本ブライダル協会では、提唱する「シビルウェディング」にご賛同いただける沢山の皆様をお待ち申し上げております。そして「シビルウェディング」が正しく理解され、全国各地で行なわれることを願っております。

ALL JAPAN BRIDAL ASSOCIATION 

《重要》

- ① フリーのシビルウェディングミニスター・ディレクター、またはプロデュース会社所属のミニスター・ディレクターは、各都道府県に設置されているエージェントに所属していただきます。
 - ② ホテル・式場勤務のシビルウェディングミニスター・ディレクターはエージェントに所属して頂かなくて結構ですが、勤務ホテル・式場以外で司式・進行を行なうことはできません。
 - ③ ホテル・式場のシビルウェディングミニスター・ディレクターの方で退職などの理由により、エージェント所属のミニスター・ディレクターとして活動を希望される場合は、再認定料として2万円が必要となります。
- ※ ミニスター・ディレクターに関しての詳細は別紙を御参照ください。